

MGU Chapel Letter

—第 48 号 2025 年 4 月 5 日— 発行：大学宗教センター

* 2025 年度 年間聖句 *

「あなたの御言葉は、わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯（ともしび）。」
詩編 119 編 105 節



大学礼拝が 18 日から始まります！

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

4 月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・ 4 月 18 日（金） 佐々木哲夫 （理事長・学院長・宗教総主事）
- ・ 4 月 21 日（月） 栗原健 （大学宗教センター長）
～ 23 日（水）： 学友会春季総会のため休み ～
- ・ 4 月 25 日（金） 長谷部弘 （学長）
- ・ 4 月 28 日（月） 松本周 （一般教育学部教授）
- ・ 4 月 30 日（水） 大久保直樹 （中高宗教主事）

* 聖書・讃美歌をお持ち下さい。

❖ 聖書・讃美歌販売のお知らせ ❖

キリスト教書店エッセイの木による聖書・讃美歌の販売が、4 月 7 日（月）から 11 日（金）にかけて、教科書販売と同じく小ホールで行われます。授業でも使用されるので、新入生の方は購入を忘れないように気をつけましょう。販売時間は 10 時から 15 時まで。なお、支払いは現金もしくは PayPay になります（生協プリペイド・図書カードは使用できません）。

✦ 大学で基督教を学ぶ理由とは？ ✦



これを読んでいる方の多くは、1年生だと思います。1年生は基督教の授業が必修になりますが、「私はクリスチャンではないのに、どうして基督教を学ばなくちゃいけないんだろう？」と思っている人も多いのではないかと思います。

実は基督教は、人間の生き方を考える上で非常に重要なことを教えてくれます。

聖書が掲げる根本原則の1つは、イエスの言葉にもあるように、「隣人（他の人）を自分のように愛しなさい」です（マタイによる福音書 22章 39節）。ここで注目したいのは、「自分のように」他者を愛するという部分です。ということは、他者を大切にすると同時に、自分自身を受け容れ、大切にすることが重要になるというのですね。

生産性や効率で人間の価値が計られがちな今の世の中では、「どうせ私なんて」と思っている人が多いです。SNS でキラキラした投稿を見ているうちに、「特別なことができない自分は、価値がない」と感じてしまう人も少なくないのではないのでしょうか。

それに対して聖書は、「違う」と言います。あなたは神によって大切な、誰のコピーでもない存在として創られた。あなたはあなたであるだけで価値があり、人生には必ず意味があると聖書は伝えます。「何かができるから、自分は価値がある」ではなく、「自分は価値がある存在だから、何かができる」というほうが本当なのです。

もちろん、人には弱さや欠点があります。けれども、「弱さや欠点があっても、自分は依然として大切な存在なのだ」ということが分かると、心の不安がほどけて、自分自身と真っ直ぐに向き合えるようになります。そのように自身の内面を知って理解することは、他者のことを理解し、受け容れる心を作ってくれますね。こうしたステップが、他者と共に生きる「共生」の土台になって行くのです。

自己受容と共生、この2つは教育の主要な目的と言ってもいいものです。このように、基督教は人生や社会のあり方について考える上で、欠かせない視点を与えてくれます。今後の授業や礼拝を通じて、これらのことを深く学んで行きましょう。（栗）



【連絡先】 宮城学院基督教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp